

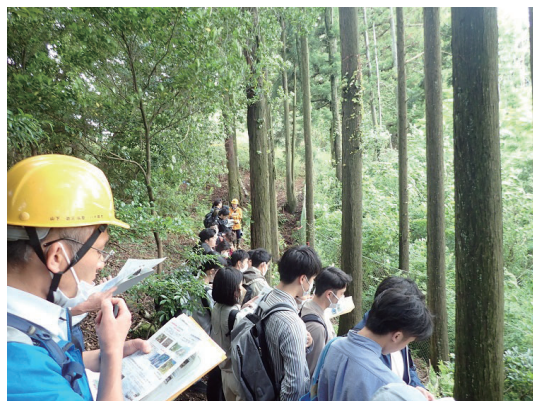
近畿大学の国有林視察を受け入れました！！

6月22日(木)、近畿大学農学部から33名(学生29名、院生2名、教授2名)が箕面国有林を視察しました。具体的には、都市近郊林にある箕面国有林における人工林施業、シカ被害防止対策及び森林環境教育の取組について理解を深めるため、京都大阪森林管理事務所と箕面森林ふれあい推進センターから説明を受けました。

森林環境教育では、まず森林環境教育プログラム「森の探検隊」を体験してもらいました。この「森の探検隊」は、森の中のポイントを5~6人に班で探検し、各ポイントの指令を班全員で考え答えを導き出すプログラムで、学生には2つのグループに分かれて、探検ポイントを5つほど回り指令書の問題を自分なりに考えてもらいました。学生からは、「大学生でも楽しめるポイントがたくさんあった」「シカ対策のポイントは実際に見ることが出来て勉強になった」等の感想をもらいました。

次に、シカ被害防止対策では、くくり罠設置の体験してもらいました。大阪府猟友会箕面支部の中垣氏(捕獲従事者)からくくり罠の設置方法や安全対策など実践を交えた説明を受けた後、学生たちはいくつかのグループに分かれ実際にくくり罠を設置し、捕獲したときの作動などを確認してもらいました。学生のほとんどが初めての体験だったため、罠の設置場所や効率的な捕獲方法、さらにはジビエに利用する場合の捕獲時期など多くの質問が出され、関心が高いことに気づかされました。

ふれあいセンターでは今後も、国有林における取組について理解を深める機会を積極的に作ってまいります。



京都大阪森林事務所による説明



「森の探検隊」の説明



学生による罠設置体験



※くくり罠

獲物が足で罠を踏み抜くとバネの力で罠が作動し、ワイヤーが獣の足を括り(くくり)捕獲する仕組みの罠



『カブトムシ里親まつり（飼育編）』を開催しました！

8月6日(日)夏空の下、箕面国有林において『カブトムシ里親まつり(飼育編)』を開催しました。このイベントはふれあい推進事業の一環として、NPOクワガタ探検隊と共催で実施しているもので、カブトムシの飼育を通して自然とのかかわりや命の大切さを学ぶことを目的として開催しています。今年度は、5家族15名の方が参加しました。

『カブトムシ里親まつり』は2回に分け行われ「飼育編」では、参加者はカブトムシのオスとメスのペアを持ち帰ってもらい、「放虫編」にて生まれた幼虫を昆虫ベッドに放すイベントとなっています。

参加者はまず、カブトムシの幼虫の安全な住処づくりのため、昆虫ベッドの腐葉土の入れ替えを行い、その後、クワガタ探検隊の方々が作成した創作紙芝居「かぶと虫になりたかったミヤマくん」を見て、生き物についての知識を深めました。最後に、NPOクワガタ探検隊の西氏からの飼育方法の説明を受け、カブトムシのオスとメスのペアが手渡され大事に持ち帰られました。

参加者からは、「カブト虫を育てるのが楽しみ。」「毎日のお世話を頑張りたい。」等の熱意を述べていただきました。

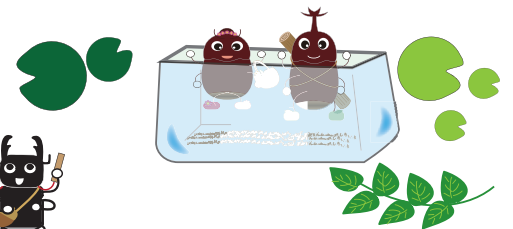
ふれあいセンターでは今後も、森林と関わる事が出来る機会を積極的に作ってまいります。



昆虫ベッドの土の入れ替えの様子



カブトムシとのふれあい



かぶと虫になりたかった
ミヤマくん



カブトムシの飼育方法の説明



創作紙芝居の上演

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
 TEL:050-3160-6745/FAX:06-6881-2055
 〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局2F
 URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/
 E-mail kc_fureai@maff.go.jp

当センターの活動報告を年報としてとりまとめ、上記アドレスに掲載していますのでご覧ください。



ふうちゃん (桐) らくちゃん (様) おうちん (桜) デジ君